

## 新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について

昨年11月29日以降における新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について、御報告いたします。

### 1. 新型コロナウイルス感染者の発生状況について

はじめに、新型コロナウイルス感染者の発生状況について御報告いたします。

むつ保健所管内においては、11月29日に新規感染者数が過去最多の208名となりましたが、その後、感染者数は減少傾向に転じ、現在は落ち着いた状態が継続しており、病床使用率も低い水準で推移しております。

このような状況から、むつ保健所管内においては、9月21日に始まった第8波は終息したものと認識しております。

### 2. 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応について

次に、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に備えた対応について御報告いたします。

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に対しては、重症化リスクの高い方、低い方、それぞれの方に応じた受診方法の周知を徹底したところであり、市民の皆様の御理解と御協力により、当初懸念されておりましたむつ総合病院の発熱外来のひっ迫は回避されております。

また、年末年始の期間におきましては、例年、休診する民間の医療機関が多くなりますが、市内における診療体制強化のため、むつ下北医師会及びむつ下北薬剤師会に御協力いただき、12月29日及び30日並びに1月3日の3日間、民間の7医療機関及び11調剤薬局において診療や処方薬の調剤を行っていただきました。この3日間で民間医療機関の受診者数は45名、調剤薬局での処方薬の調剤件数は35件となっております。

このことにより、年末年始期間に、むつ総合病院へ受診者が集中することなく、救急医療への影響はなかったものと考えております。

現在、むつ保健所管内において季節性インフルエンザは発生しているものの、新型コロナウイルス感染症の感染者数は落ち着いており、同時流行の状況にはないものと考えておりますが、今後も感染状況に応じた対応に努めてまいります。

### 3. 抗原検査キット配布センターの運用状況について

次に、抗原検査キット配布センターの運用状況について御報告いたします。

抗原検査キットの配付については、季節性インフルエンザとの同時流行に備え、配布センターのほか、川内、大畑、脇野沢の各地区においても配布しており、多くの市民の皆様にご利用いただいております。

また、年末年始期間におきましても、12月29日及び30日並びに1月3日の3日間、配布センターを開設し、当該3日間での配布数は168個となっております。

### 4. 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種計画について

次に、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種計画（プロジェクトG）の進捗状況について御報告いたします。

#### <乳幼児接種の状況について>

まず、生後6か月から4歳までの乳幼児接種の状況についてであります。対象となるお子様の保護者の皆様に接種希望のアンケート調査を実施し、希望された方々へ接種券を送付しており、2月15日現在、むつ総合病院において79名が接種を終え、接種率は6.4%となっております。

#### <小児接種の状況について>

次に、5歳から11歳までの小児接種の状況についてであります。2月15日現在、むつ総合病院において、2回目までの接種を908名が終え、接種率は34.2%、3回目接種を393名が終え、接種率は14.8%となっております。

#### <オミクロン株対応ワクチン接種の状況について>

次に、12歳以上のオミクロン株対応ワクチン接種の状況についてであります。2月15日現在、集団接種及び大規模接種を含め、35,617名が接種を終え、接種率は71.5%となっております。

## 5. 経済対策及び雇用対策について

次に、経済対策及び雇用対策について御報告いたします。

まず、むつ市議会第164回臨時会、第252回定例会及び第254回定例会で御議決を賜りました経済対策第7弾、第8弾及び第9弾における主な事業の2月15日現在の進捗状況について御報告いたします。

はじめに、「離職者生活・再就職支援給付金事業」につきましては、424件分、4,240万円の給付を完了しております。

次に、「プレミアム付タクシーチケット事業」につきましては、12月末で事業が終了し、2,455万7,000円相当が利用されております。

次に、「ジオ・スタイル・ウェディング事業」につきましては、合計51件の申込みをいただき、昨日、申し込みいただいた全ての皆様の撮影が終了したと伺っております。

次に、「にぎわい再生イベント推進事業」につきましては、むつ市、むつ商工会議所、むつ市観光協会及び下北物産協会で構成する実行委員会が主催又は共催するイベントといたしまして6件、実行委員会が経費の一部を補助するイベントを8件実施しておりますが、締めくくりのイベントとして下北物産協会主催の「第27回しもきた冬まつり」が来る2月25日に下北文化会館を会場に開催されることとなっております。

次に、「燃油価格高騰対策事業」につきましては、1,189件分、5,191万8,000円を給付し、事業を終了しております。

次に、「宿泊業経営安定化事業」につきましては、36件分、1,840万円を給付し、事業を終了しております。

次に、全ての市民の皆様一人4,000円分の燃料券を配付する「燃料価格高騰対策事業」につきましては、燃料券の郵便配達を終え、1億4,964万8,000円分が利用されておりますが、不在のためお受け取りできなかった方や、宛所不明により配達できなかった方の燃料券につきましては、市役所本庁舎において配付しておりますので、燃料券コールセンターにお問い合わせいただきたいと思います。

次に、「農林水産業生産費高騰対策支援事業」につきましては、12件分、513万5,000円の給付を完了しております。

次に、「生活衛生事業者燃油価格高騰対策支援事業」につきましては、20件分、

480万円の給付を完了しております。

次に、雇用対策についてであります。昨年5月31日で生産業務を終了したアツギ東北株式会社むつ工場における離職者への支援につきましては、累計で437名の離職者のうち、12月末現在、246名の方が再就職しており、求職者数は182名となっております。

市では、求職者支援といたしまして、生活安定と再就職活動に係る経費を支援する「離職者生活・再就職支援給付金事業」を実施しているほか、本日から再就職に有利となる資格取得支援として、「介護職員養成研修・生活援助従事者研修」を開催しており、17名の方が受講しております。

今後におきましても、求職中の方々のニーズを把握し、お一人おひとりに寄り添った支援を行っていくとともに、引き続き新たな雇用機会の創出に繋がる企業誘致に全力で取り組んでまいります。

## 6. 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金について

次に、低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金について御報告いたします。

当該給付金は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯への生活支援として、児童一人当たり5万円を給付するもので、給付実績につきましては、2月15日現在、824世帯、1,251名、金額にして6,255万円の給付を完了しております。

なお、申請受付期限は3月15日となっております。

## 7. 青森県子育て世帯臨時特別給付金給付事業について

次に、青森県子育て世帯臨時特別給付金給付事業について御報告いたします。

当該給付金は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、給食費や食材料費等の物価高騰に直面する子育て世帯に、児童一人当たり2万5,000円を給付するもので、給付実績につきましては、4,126世帯、6,859名、金額にして1億7,147万5,000円の給付を2月9日に完了しております。

## 8. 保育施設等の感染症対策について

次に、保育施設等の感染症対策について御報告いたします。

保育施設等における新型コロナウイルス感染者数は、1月以降、急激に減少して

おりますが、季節柄、インフルエンザとの同時流行も懸念されることから、引き続き保育施設等における感染症予防対策の徹底に努めてまいります。

## 9. 介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス事業所等における感染症対策について

次に、介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス事業所等における感染症対策について御報告いたします。

当該事業所関連施設の感染状況につきましては、12月上旬から1月中旬までは感染者が継続的に発生しておりましたが、1月下旬以降は感染者数が減少し、沈静化しております。

当該事業所関連施設におきましては、国及び青森県からの通知等に基づき、感染症対策を実施いただいておりますほか、市といたしましても、介護保険サービス事業所、障がい福祉サービス事業所等に対し、医療機関における受診体制等の情報提供を行いつつ、引き続き、時節に応じた感染症対策の徹底に努めていただくよう文書によりお願いをしております。

## 10. 市内の小中学校における学校活動等について

次に、市内の小中学校における学校活動等について御報告いたします。

市内の小中学校における児童生徒の感染者数は、12月の1か月間で203名であったものが、1月の1か月間では15名となり、急激に減少しております。

また、小中学校において、家族が陽性となったことや本人が風邪症状等により登校できず、学習に影響を受けた児童生徒数は、12月の最も多い日で343名でありましたが、1月は最も多い日で81名であり、現在は更に減少し、全ての学校でほぼ通常の活動を維持できている状況にあります。

なお、各学校においては、タブレット端末を活用した学習支援や必要に応じて補充学習を行う等、出席停止によって児童生徒の学習に遅れが生じることがないように取り組んでいるところであります。

以上、新型コロナウイルス感染症に係る市の対応について御報告させていただきます。

市民の皆様におかれましては、引き続き、室内の換気を心がけるとともに、感染リスクの高い行動は避け、日常生活を送っていただければと存じます。

今後につきましても、国及び青森県の方針等に基づき、市民の皆様の安全と健康、そして日々の生活を守るため、対策を講じてまいりますので、御理解を賜りたいと存じます。